投資指南

岡地証券
調査情報室長
森　裕恭

マキタ

電動工具最大手 50ヵ国に拠点
自社株買い実施中 時価は買い

マキタ（6586）は電動工具のトップメーカーである。2005年に業界に先駆けてリチウムイオンバッテリーをプロ用電動工具に採用した。また12年には充電式草刈機を開発し、脱エンジンとコードレス化を実現した。生産については世界8カ国に拠点を持ち、生産台数ベースでみると約9割強が海外で生産されている。同時に世界約50カ国に直営の営業拠点を展開し、アフターサービスも充実している。

次に前期（25年3月期）ベースでみた地域別売上高比率をみると欧州向けが49%、国内が17%、米国が11%などとなっている。米国向けの比率は全体からみれば1割程度であり、かつ一部は現地生産されていることから米国政府による関税引き上げの影響は、さほど大きくないと思われる。因（ちな）みに今期業績見通しの前提となっている想定為替レートはドル円で140円、ユーロ円で160円である。足元、円は対ユーロで下落が加速しており直近では171円である。対ユーロで1円の円安は営業利益に9億円の増益要因となる。同社の製品は欧州でもプロの職人からDIY愛好家まで幅広い層に支持されている。

さて同社は、これまで電動メーカーとして成長してきたわけだが、今後の成長戦略としてバッテリー充放電技術とモーター技術を生かして園芸用機器、清掃、アウトドア製品をはじめ充電製品のラインアップを拡充していくことを挙げている。

今期の業績は連結営業利益で740億円と前期比30%減益予想となっている。同社の収益は世界景気全体の影響を受けやすいためトランプ関税のマイナス要因を見込んだ結果と思われる。同社の第1四半期の決算発表は今月30日である。通期見通しをやや慎重に見積もっているため第1四半期の実績は高い進捗（しんちょく）率につながるとみている。株価は4400円近辺でもみ合っている。同社は今年9月末をめどに200億円を上限とした自社株買いを実施中である。下値不安は乏しいとみて時価は買いでよいだろう。